

認知症サポーター養成講座 11月29日（金）主管 福祉対策部

—「認知症を学び地域を支えよう」—

福祉対策部ではキャラバンメイト(八木さん、前田さん、升村さん)を講師にお招きし、35名の大勢の参加をいただき「認知症サポーター養成講座」を愛宕供用会館で開きました。講座の内容は、初めに認知症とは？次に認知症を理解するには？三点目は私たちが地域で出来ることは？の三つのテーマで行い、講師の方より良い例や悪い例など実演をもって示してくださいました。講座を修了された方には、そのしるしとして「オレンジリング(腕輪)」をお渡ししました。

「認知症サポーター」とは、認知症は誰でも起こりうる脳の病気です。認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、手助けをしていく人のことです。従って支援する人を一人でも多く増やすことが大切です。

キャラバンメイトの皆さま

